産業人クラブだより ―かけはし―

産業人烈伝

運命変えた〝プローブ〟

清田製作所・清田茂男社長 ㊤

「頂点に上ったものは転げ落ちる」―。これは終戦後に私の故郷である北海道の漁村で開かれた座談会で聞いた言葉だ。北海道大学の学生が話すというので、貴重な機会だと思って内容も知らずに参加したが、実は共産主義の宣伝会だった。講演の内容には興味がわかず、まったく覚えていないのだが、なぜかこの言葉だけはずっと耳に残っている。

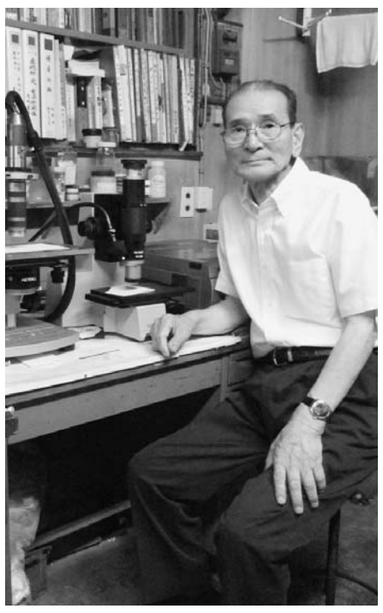
この言葉は、私の人生における決断の指針になった。その後、東京のハーモニカ工場で働き、工場長になった時もそうだった。当時は注文が殺到し、この先も受注がなくなるとは考えられない状況だったが、ふとこの言葉を思い出して独立することを決意した。しかし社長が認めてくれず、結局5年ほど後輩たちの指導にあたってから退職した。

その後に立ち上げたプレス工場は、次第に腕を認められて取引先を広げた。ただ高級レコード針の製造を手がけた時も「いつかは転げ落ちるのでは」という気がしていた。実際にその読みは当たり、1980年代に入るとレコードはCDに取って代わった。レコード針の受注は急減し、倒産する取引先もあり、わが社も苦境に陥った。

そのころ、取引先の商社からみせられた米国製の部品が、私の運命を大きく変えた。半導体などの電圧や電流を測定するために使われるプローブと呼ばれる部品だ。

私は小学卒で、電気関係の知識はないに等しかった。だが、こんなことで諦めたりはしない。書物を読みあさり、電気の専門家の教えも乞うて専門知識を身につけた。研究開発の結果、世界でも私ともう一人にしか製造できないプローブが完成した。

その後も現状に満足することなく、極細の円筒形プローブや、従来とは全く異なる発想の積層型プローブを開発してきた。最近では電気自動車（EV）向けに高電圧・大電流のプローブを製品化した。私の開発した製品は、市場の数年先を行くものだと自負している。今では大手メーカーの研究者らからの相談も多く寄せられる。中小企業であれ、技術力で大手企業をリードすることができると信じて研究開発に取り組んでいる。（全3回）


現状に満足せず今日も研究開発を続ける清田社長

トップインタビュー

三次元抜き型 少ない投資でコスト減

日本刀の製法技術応用

ハガタ屋社長（四国産業人クラブ）
喜岡 達 氏

四国産業人クラブのハガタ屋（香川県東かがわ市、0879・25・3121）は、紙を500枚重ねて打ち抜く「封筒用抜き型」、繊維、皮革、ゴム、プラスチックフィルムなどを打ち抜く「抜き刃型」などを手がけるトップ企業。現在、力を入れている「三次元抜き型」をはじめ、「スーパー繊維裁断用抜き型」、「炭素繊維強化プラスチック（CFRP）抜き型」など加工対象を広げている。喜岡達社長に製品づくり、日本のモノづくりへの思いを聞いた。（高松支局長・斉藤伸介）◇

きおか・たつる　63年（昭38）武田鉄工入社。67年に独立して創業し、00年にハガタ屋を設立。07年に有限会社から株式会社に変更。08年に内閣官房地域活性化伝道師。香川県出身、65歳。

―三次元抜き型の特徴は。

「従来の抜き型は繊維、皮革、紙、フィルムなどを打ち抜く。自動車のバンパーなどの曲面状の抜き型はなかった。塗装後の成型品を痛めずに穴あけ、切断するのが三次元抜き型だ。日本刀に用いる製法、焼き入れ技術を応用して独自に開発した。この刃にノウハウが詰まっているが、見た目は変わらない。1999年に展示会に出展した時は『プレス金型で処理する方が簡単だよ』と笑われたが、ある担当者の目にとまったことがきっかけとなり、ここまで進化した。少ない設備投資で、ランニングコストも減らせると実証した」

―スーパー繊維用抜き型を開発しました。

「付加価値の高い仕事をすることが重要だ。09年4月から11カ月で弾性と耐熱性に優れたスーパー繊維用の抜き型を開発した。製造工程は今までと変わらない。鍛造、熱処理の工程を工夫した。スーパー繊維は防弾チョッキ、宇宙服などに使用されている。用途は医療、防衛分野などにも広がるだろう」

―新たな取り組みは。

「これまでは挫折の繰り返しだった。東日本大震災が響いて売り上げが半減した。しかし、悪戦苦闘してCFRPの抜き型開発に成功した。CFRPは鉄に比べて重さが4分の1で、強度が10倍。航空機や自動車の部品などに利用されている。輸入車ショーで高級スポーツカーにCFRP製のパーツが多く採用されていた。今後、日本の高級車向け需要が増えることを期待している」

―日本のモノづくりについてどう思いますか。

「原点は『昔から伝わる技術の中に、最先端に応用できる技術が眠る』だ。幾多の失敗の中に必ず成功の光があると信じている」

トピックス

東京 愛知産業 大型工作機械の受注開始

愛知産業（東京都品川区、井上裕之社長、03・6800・2050）は、イタリアの大型工作機械メーカー、パーマ（ロベレット）と日本総代理店契約を結び、大型工作機械の受注を始めた。最長1.6㍍の腕を持つ横中ぐり盤（写真）など6種類を取り扱う。価格は設置工事費用を含めて5億―10億円。重電機器や建設機械などの製造現場に採用を提案し、初年度2台の販売を目指している。

現在、原子力発電用インフラ設備などの大型製品の加工は短納期化が求められている。大型品を高精度で加工できる最新鋭の装置が日本の企業には必要で、今が装置導入の好機であると判断し、パーマとの契約に踏み切った。

パーマが2012年に中国・上海に置いた機械組立工場には、パーマ本社の技術者が駐在している。中国工場の協力を得て、大型工作機械の修理やメンテナンスなどのアフターサービスを、日本で提供できる体制を整えている。

愛知産業は重電や造船などの業界で用いる溶接装置や真空溶解装置の輸入販売を主に手がけている。5軸加工で高く評価されているドイツの工作機械メーカー、ハームレの同時5軸マシニングセンター（MC）を、04年に日本市場に投入。加工技術と工作機械のサービスの経験を積み上げた。この実績をパーマが評価したことも契約につながっている。

小さくても本物

栃木・シンテックス 高齢化社会、出荷好調

シンテックス（栃木県さくら市、八木沢穣社長、028・686・3311）は、自社製品の福祉用品「タスカル」ブランドで、階段昇降機と段差解消機を展開している。階段昇降機（写真）は階段の傾斜に沿って、いすがレール上を移動する装置。段差解消機は車いすの利用者が車いすから降りることなく段差を移動できるエレベーター式のテーブルだ。

北欧の階段昇降機を扱っていた販売代理店から「日本人の体格に合った機器がほしい」との相談を受け、開発に着手。1996年に階段昇降機を、02年に段差解消機を発売した。八木沢社長は「この製品の市場規模は40億―50億円で、いわば隙間だ」としているが、高齢化を受けて出荷台数を伸ばしており、現在は売上高の約4割を占める柱の一つに育っている。

階段昇降機のレールはオーダーメードで製造しており、さまざまな角度や曲線状の階段に対応できる点が強み。使わない時は、肘掛けや座面、足置き台を折り畳めるようにして利便性を高めた。屋外向け装置でも実績を積んでいる。

八木沢社長は「品質管理は医療機器向けなどの板金部品生産で、大手メーカーの厳しい要求に応えてきた経験が生きている」と胸を張る。その上で、「安全・安心が求められる。しっかりとメンテナンスサービスなどを提供したい」と気を引き締めている。

ミャンマー視察記 ㊦

中小進出にエール

日本産業人クラブ連合会

視察団は2月22日午前、宿泊先の「トレーダーズホテル」で日本貿易振興機構ヤンゴン事務所の高原正樹所長と三菱商事ヤンゴン事務所の岩崎行洋副所長の講演を聴いた。高原所長は「広告代理店や弁護士事務所などビジネス支援系の企業進出は増えているが、本丸の製造業の進出は遅れている」と指摘。岩崎副所長は「中国と韓国に良いロケーションを取られつつある。（迅速経営の）中小企業の方にぜひ頑張ってほしい」とエールを送った。

午後は工場見学。まず地場の、すをつくっている企業を視察した（写真）。ドイツ製の製造装置を使い、品質管理担当者も配置して近代的なモノづくりに専念している様子がうかがえた。続いて台湾系のプラスチック成形企業を訪問。女性工員がてきぱきと手を動かしながら作業する様子を見学した。

次は日本政府と商社が開発に意欲を示している「ティラワ経済特区」の建設予定地を視察。2015年に一部の工業団地を先行して建設する計画だが、現状はまだ更地の状態。一行は将来の発展に思いをはせた。

ヤンゴン最後の夜は宿泊先ホテルの中華料理店で解団式を行った。日刊工業新聞社の井水治博社長は視察先との日程調整を始め、視察の遂行に全面的に協力してくれたミャンマー経済・投資センターの米村紀幸理事長に感謝の意を表明。米村理事長は「ミャンマー側の対応が遅く、やきもきする場面もあったが、無事に日程を終えてほっとしている」と話した。ミャンマー視察団の笠原文善団長は「今回の視察で実際に進出企業が出たよ、と話せるようになれば」と期待を込めた。

福島・いわき市で先端企業の見学会 群馬産業人クラブ

群馬産業人クラブ（有田喜一会長＝群栄化学工業社長）は3月18、19の両日、福島県いわき市で「先端企業技術見学会」を前橋市異業種交流グループと共催で開いた。超硬工具大手のタンガロイとリチウムイオン二次電池などの検査装置で国内トップシェアを握る東洋システムを訪問。6社・団体が参加し、特殊な技術と最新設備による競争力の源泉を学んだ。

初日は米著名投資家のウォーレン・バフェット氏がオランダのIMCグループを通じて間接出資するタンガロイの新工場棟を見学した（写真）。刃先交換チップ（インサート）の材料となる希少金属のタングステンやコバルトなどを焼き固める焼結工程から研削、表面処理など効率の高い一貫工程を視察した。親会社はイスラエルの切削工具会社のイスカルなどを傘下に置き、グループの力をラインの自動化など随所に活用している。

担当者は「親会社が先行する技術をタンガロイの力でさらに改良を加えて生産技術を確立したい」と狙いを説明した。

19日は二次電池の検査装置で機種によって5―8割の高シェアを持つ東洋システムを訪問した。ハイブリッド車などの登場で電池の機能強化が商品全体の評価に直結するため装置需要が急増。自動車や電池、材料メーカーなどが主な顧客だ。参加者は組立作業で忙しい生産現場や引き合いが増えている電池の受託製造事業などの説明を受けた。永島彰彦総務部長は「電池の改良で稼働時間を高めたい介護用ロボットなど新しい市場が生まれつつある」と市場動向を解説。13年中には本社隣に新本社を建設する。

期間中、視察団は津波被害を受けて市全体の犠牲者の3分の1以上を占めた薄磯地区を訪れた。関東精機の鮎沢恭一社長は「震災から2年たった今でも復興は道半ば。爪痕の残る様子がまじまじと垣間見られた」と振り返った。

経済展望とアベノミクス テーマ

高橋日本総研理事長が講演

東京・女性部会

▲㊤佐川会長からネクタイをプレゼントされて照れ笑いする高橋氏
㊦講演を聞く参加者

東京産業人クラブ女性部会（佐川八重子会長＝桜ゴルフ社長）は3日、KKRホテル東京（東京都千代田区）で4月例会を開いた。日本総合研究所理事長で、安倍晋三政権の経済財政諮問会議議員を務める高橋進氏が「2013年内外経済の展望とアベノミクス」をテーマに講演した。高橋氏は「アベノミクスの真価が問われるのはこれから」とした上で、世界経済の見通しや金融、財政、成長戦略の〝3本の矢〟などについてデータ分析を交えて解説。女性経営者ら約50人が参加した。

また高橋氏は「欧米は女性の出生率と就業率の高さが比例している。一方、日本は逆。女性が活躍している会社の成長率は高い。女性が活躍する社会にしたら経済も上向きになると確信している」と強調。その上で、女性や若者、高齢者の活用策を、近く諮問会議の議題として取り上げるとした。一方、会員から「待機児童解消のため保育園を設立しようとしても区の認可が下りない」といった課題を指摘する声もあり、活発に意見が交わされた。

講演後、佐川会長がエルメスの淡いグリーンのネクタイを〝サプライズプレゼント〟。「ぜひテレビでつけている姿を見たい」と首元にあてがうと、高橋氏は「次に出演する時は必ずつけます」と宣言し、会場を沸かせた。

交流ゴルフコンペ 細野氏が総合優勝 首都圏産業人クラブ

埼玉、茨城、千葉の産業人クラブは3月23日、豊里ゴルフクラブ（茨城県つくば市）で、「首都圏産業人クラブ合同地域間交流ゴルフコンペ」を開いた。当日はAとB、2クラス合わせて9組34人が参加。ペリア方式による競技の結果、埼玉産業人クラブから参加した川口鋳物工業協同組合の細野博隆専務理事がネット64・6、グロス79で総合優勝し、日刊工業新聞社の井水治博社長からトロフィーと賞品が授与された（写真）。細野氏は「優勝は想定外。プレーは低調だったが、ハンディキャップに恵まれた」と驚きを隠さなかった。

総合準優勝はKANONの水上恭一社長（茨城産業人クラブ会員、ネット66、グロス102）、総合3位はTMPの高橋一雄社長（同、ネット66・8、グロス86）だった。

またベストグロス賞は、グロス75でハーベスの前田知憲社長が受賞。ネットスコアの平均で競った地域対抗戦では、埼玉産業人クラブが72・7で優勝した。

各クラスの上位3人は次の通り。（敬称略）

▽Aクラス＝1位・細野博隆、2位・高橋一雄、3位・佐藤栄作（アート科学社長、茨城産業人クラブ会員）。

▽Bクラス＝1位・水上恭一、2位・三代達也（日立電機工業社長、同）、3位・豊田国寿（日刊工業新聞社茨城支局長）。

大川日本工大理事長米寿記念ゴルフ大会 大竹氏が優勝 NITTC埼玉交流会

埼玉産業人クラブ・NITTC埼玉産学交流会（長谷川勉会長＝長谷川鉄工所社長）は3月22日、千葉県野田市の柴カントリークラブすみれコースで「第57回ゴルフ大会・大川陽康日本工業大学理事長米寿記念杯」（写真）を開いた。

結果は平和産業（さいたま市南区）の大竹功一社長がネット73・6、グロス106で優勝。大竹社長は「記念の大会で優勝できてうれしい。一生の思い出になる」と喜んだ。

当日の天気は晴れ。良いコンディションの中、熱戦を繰り広げた。2位に丸一ゴム製作所（埼玉県吉川市）の杉本賢次社長、3位に同大学の柳沢章副理事長が入賞した。プレー後、一同は5月に88歳となる大川理事長を囲み歓談。大川理事長は「このような場を設けていただきありがとうございます。今後も元気良く会を続けましょう」とあいさつした。

京都でひな祭り鑑賞会を開催 大阪・女性部会

大阪産業人クラブの女性部会（部会長野田祥代＝野田テック会長）は3月30日、京料理の老舗「ちもと」（京都市下京区）で「京都おひな祭り鑑賞会」を開催した（写真）。名古屋産業人クラブの女性部会も駆けつけて交流した。ちもとは享保3年創業、300年の歴史を誇る。古くから伝わる雛壇や由緒ある雛道具類を展示しており、この由緒について女将が「古き時代の節句にまつわる遊び心を思い描いてほしい」などとと説明した。

当日は鴨川の土手の桜が満開。桜並木を眺めながらの雛料理に舌鼓を打ち、和やかな時間が流れた。食後は白川沿いの桜や建仁寺を散策し、散会した。やはり京都には心を穏やかにする風情がある。

4―5月の予定

【4　月】

◇**6日（土）多摩産業人クラブ**「第8回日刊工業新聞社杯ゴルフ大会」（東京都青梅市、東京バーディクラブ）

◇**9日（火）新潟産業人クラブ**「スノーピーク本社工場見学と山井太社長の講演」テーマ：スノーピークの経営戦略（新潟県三条市）懇親会：松木屋（同）

◇**11日（木）掛川産業人クラブ**「平成25年度定時総会」（静岡県掛川市、掛川グランドホテル）

◇**11日（木）―14日（日）埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会**「学外研修」（沖縄県産業視察）

◇**19日（金）埼玉産業人クラブ・TDU産学交流会**「工場見学会」（上板塑性、埼玉県三芳町）

◇**20日（土）大阪産業人クラブ**「競馬を楽しむ会」京都競馬場貴賓室より観戦

◇**23日（火）東京産学交流会（サザンクロス）4月定例会**「日本経済の見通し」講師：日本総合研究所調査部主任研究員・松村秀樹氏（東京都大田区、三井ガーデンホテル蒲田）

◇**23日（火）名古屋産業人クラブ**「2013年度定時総会＆記念講演会」（名古屋市中村区、名鉄ニューグランドホテル）

◇**23日（火）大阪産業人クラブ**「会員同士の工場見学」富士製作所（ナット）、ウツエバルブ（原子力バルブ）、マツダ（冷間圧造）の3社

◇**26日（金）大分産業人クラブ**「平成25年度定時総会＆講演会」（大分市、大分センチュリーホテル）

◇**30日（火）埼玉産業人クラブ**「第50回定時総会、第32回西海記念賞、第9回埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰」（さいたま市浦和区、浦和ロイヤルパインズホテル）

【5　月】

◇**14日（火）茨城産業人クラブ**「経済講演会・交流会」（水戸市、水戸京成ホテル）

◇**14日（火）大阪産業人クラブ**「総会」（大阪市都島区、大閤園）

◇**16日（木）東京産業人クラブ・神奈川産業人クラブ共催親睦ゴルフ大会**（横浜市保土ケ谷区、横浜カントリークラブ）

◇**27日（月）九州・山口産業人クラブ**「25年度定時総会」（福岡市博多区、ホテル日航福岡　5階「志賀の間」）

◇**28日（火）名古屋産業人クラブ**「メガソーラーたけとよ＆武豊火力発電所」見学会（愛知県知多郡）

◇**30日（木）岐阜産業人クラブ**「2013年度定時総会＆記念講演会」（岐阜市、岐阜都ホテル）

新入会員

埼玉産業人クラブ

▽**小林　和好氏**　小林鋲螺社長（埼玉県草加市神明1の12の19、048・935・1791、金属部品の製造・販売）

東京産業人クラブ

▽**大久保　秀夫氏**　フォーバル会長（東京都渋谷区神宮前5の52の2、青山オーバルビル14階、03・3486・2961、OA・情報通信機器の企画、販売、設置、保守、経営コンサルティング）

神奈川産業人クラブ

▽**吉田　英臣氏**　太洋専務（横浜市港北区大豆戸町375、045・543・7111、輸出・国内貨物の梱包、輸送など）